

# 口笛奏者(口笛世界チャンピオン)

# 儀間 太久実

Takumi GIMA

ホールにトルコ行進曲の速いテンポの旋律が鳴り響いています。ピッコロかフルートの音を思わせる音色ですが、そんなに硬質でなく少し息の混ったような懐かしい響きです。その音楽はステージに立つ一人の若い男性の口唇で奏でられていました。「大阪狭山に生きる人」今号は人体機能の一部分を楽器として音楽を作り出す数少ない口笛奏者・儀間太久実さんです。



儀間太久実さんは1988年2月5日大阪狭山市に生まれまし。大阪狭山市第三中学から金剛高校、そして関西学院大学へと進みましたが、大学在学中2007年アメリカ・ノースカロライナ州で行われた国際口笛大会、第34回イン

ターナショナル・フィッスラー・コンベンションに出場。ポピュラー、クラシック両部門で1位を獲得し総合優勝を果たし、一躍全米で名を上げ「NEWSWEEK」誌(07・10・17号)で「世界が尊敬する日本人100人」の中に選ばれたのです。



!! SAYAKAホールのアプリを使って儀間さんの「口笛」を聴いてみよう !!

1 SAYAKAホールのアプリをダウンロード

2

3 カメラが起動し、儀間さんの写真にかざすと動画で「口笛」が聴けます

アプリ内のARカメラをタップ!

### 現在の活動

日本口笛協会の理事を務めるほか、各地のライブハウスを中心に演奏活動を行う。また、作曲・編曲も手がける。2015年、ファーストアルバム「embrace」をリリース。今年7月、セカンドアルバムリリースの予定。

### 日本に口笛の演奏家は何人位?

「そうですね、プロとして一人立ちしているのは7、8人位です。ね。音色も夫々異なります。」

### 好きな食べ物、趣味は?

「ラーメンです。自分で作るのも好きです。趣味は口笛を吹くこと以外なら登山です。登った山の上でコーヒーを立てるのが一番の楽しみです。」

最後に今の夢は……と聞くと、

「今の技術を更に磨いて、SAYAKAホールの大ホールに満員のお客を集めてリサイタルを開くこと」と嬉しい言葉でした。(と)

### 口笛は誰にでも吹けるのですか?

「形のある楽器とは違って自分の身体を使って鳴らすので人によっては音にならないこともあります。又練習の為にメソッドもないので音が出たらその時の口や唇の状態を憶えておいてそれを何回も繰り返し、確実な音の鳴りにしてゆく事しかないのです。ですから、

### ① 先ず音が鳴るポジションを探

す。見つけたら何度かそのポジションを練習し、常に音が吹けるよう体感として定着させる。

### ② 音が出るとメロディに表情を付

ける(タンギング)を身につける。唇、舌、息のポイント。響きは口腔で。

### ③ 曲を演奏するのに必要な音域

は約3オクターブ。声楽のソプラノと同じくらい。といったところでしょうか。

### チャンピオンになつてモチベーション

「いや、あんまり……ただ大学の学部が兵庫県の三田にあったので、優勝して帰ってへんや、三田の口笛

### 何故口笛を? 何時の頃から?

「はい、10才の頃兄(太架志さん)が吹いているのを何気なく真似てみたのが始まりで、最初は息と一緒にかすかな音が出るだけでしたが、次第にクリアな音が鳴り出し、何とか節が吹けるようになる」と面白く、毎日唇を突き出し音を出し続けました。高校から大学にかけて曲が自由に吹けるようになると、もうメッチャのめり込みました。口笛を吹いていないと落ち着かなく、学校の授業の時間も惜しい程でした。周りの迷惑も考えず吹きまくるので、仲間からは「うるさい奴」と避けられていました。」

